

一般財団法人みやざき公園協会 公園だより

PARK GUIDE

2020
Vol.11



萩の台公園 生き物観察会

パークガイド NO.11 2020年2月発行

みやざき公園協会では、毎年「パークガイド」を発行しています。HPにてバックナンバーをご覧いただけます。

編集・発行/一般財団法人みやざき公園協会 〒880-0014 宮崎市鶴島2丁目10番25号
TEL.0985-25-7410 FAX 0985-25-7390 URL <http://www.mppf.or.jp> Email: park@mppf.or.jp

Park Guide vol.11

このパークガイドは、一般財団法人みやざき公園協会が
指定管理者として管理している公園の情報をお届けする冊子です。

目次 -Contents-

公園で生き物観察!



p03

ネイチャーゲーム～水辺の自然に親しむ会～
宮崎県総合運動公園



p07

昆虫観察会
特別史跡公園西都原古墳群
宮崎市久峰総合公園



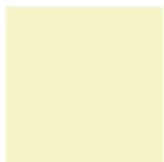
p11

トンボ池で探してみよう!夏の生き物観察会
萩の台公園



p15

干潟で遊ぼう観察会
県立阿波岐原森林公園



p17

管理公園一覧

取材日:2019年7月、8月

公園で生き物観察!

公園にはたくさんのいろいろな生き物が生息しています。

そんな生き物や自然ともっと気軽に触れ合えるよう、
各公園では、親子を中心にだれでも楽しめる生き物観察イベントを開催しています。

水辺にいる生物を採取したり、
暗闇で光に集まる虫を観察したり、
生き物や植物を探しながらゲームをしたり…

普段はなかなか出会えない自然環境に気軽に触れることができます。

今回はそんな生き物観察イベントを紹介します。

さあ、みんなも公園に行って生き物を探してみよう!



ネイチャーゲーム～水辺の自然に親しむ会～

取材日：2019年7月7日

宮崎県総合運動公園

日向景修園(日本庭園)

宮崎県総合運動公園にて開催された「ネイチャーゲーム～水辺の自然に親しむ会～」を紹介します。7月に入って続いた雨が無事に止み、当日は久々の快晴。夏らしい気分で、大きな木が生い茂る日本庭園では、元気にセミが鳴っていました。

<開催概要>

日時：2019年7月7日(日)9:30～11:30 定員：20名(事前申込) 当日参加者：26名
参加料：1人500円(4歳未満無料) 対象：どなたでも 講師：宮崎県シェアリングネイチャー協会

ネイチャーゲームとは？

ネイチャーゲームとは、自然に関する特別な知識がなくても、豊かな自然の持つさまざまな表情を楽しめる自然体験活動です。自然の中だけでなく、街中の公園や学校の校庭でも手軽にできるのがネイチャーゲームの魅力の一つです。

今回のネイチャーゲームでは、宮崎県シェアリングネイチャー協会から5名の講師に来ていただきました。講師は、「ふるふるさん」「のざさん」「ひげじい」「まりさん」のニックネームで呼ばれているネイチャーゲームリーダーの皆さん。

今回の内容は公園にある「夏」を探すネイチャーゲームでした。



講師のヒントをもとに、何の生き物のことを言っているのか考えよう！

地中にある時間のほうが長い…



逃げるときにおしっこをすることも…

答えが分かったら、指を鼻に乗せる！



分かったぞ！

今日は外でたくさん鳴き声がしますね



答えはセミ！

庭園にセットしてある自然のものではない人工物を見つけよう！

簡単に見えるものもあるけど…まだまだたくさんあるみたい…



なかなか全部見つからない！

うちわと、カゴと…



答えは講師の耳元で！

探している間は、見つけても声に出してはいけないルール

これなら簡単！



見つけにくかったものは、自然の色とよく似てる！



見つけやすかったものと見つけにくかったものどが違うのかな？

こんなところにマスカット！



全然分からなかった！

ビンゴカードをもとに、生き物や植物を探そう!



○サイレントウォーク



普通に観察するのは
違う発見ができる!



○さかなしらべ



終わりの会



生き物の写真を見ながら本日のおさらいです。それぞれどんな生き物を見つけることができましたのでしょうか? 「トンボ!」「カエル!」元気な声が上がりました。最後に生き物を守るために、何が大切なのか、環境問題についてのお話もありました。

帰りには七夕ということで、短冊に願い事を書きました!



イベント当日は7月7日の七夕ということで、短冊に願い事を書いて笹の木に吊るしました。自分や家族の願い事だけでなく、「ごはんをのこすたべる」など講師から学んだ環境を良くするために自分ができることを書いた短冊もありました。

参加者の感想



今回の参加者:1~6歳の子もいる7組の家族(計26名)

- 見ているようで気付かないことがあるんだなと思いました。
- 子どもを庭園や公園などに連れていくとき、親が工夫して課題を与えれば、子どもはキラキラと目を輝かせて楽しそうにすることを知りました。
- 初めて日向景修園に来ました。とても環境が良い所があるのだと知りました。
- 子どもの時にたくさんの虫や動物、植物そして自然に触れることで心が豊かになるのではないかと考えています。すてきな機会を作ってくださいありがとうございました。
- 実際に見る、触ることが楽しかった。
- お茶や虫避けスプレーなどの気遣いもうれしかったです。

取材スタッフより



担当:黒木

今回、初めてネイチャーゲームを体験しました。子どもを中心としたイベントのイメージがありましたが、意外に大人にとっても楽しめる内容で、私自身も自然を学びつつ楽しむことが出来ました。子どもと大人の目線から見た景色はそれぞれ違う発見があり、特に子どもは大人よりも感覚が鋭く、たくさんの生き物を見つけました。

公園スタッフより

日向景修園は、意外と知られていない生き物観察スポットです。たくさんの自然や、宮崎の風土を身近に感じることができる場所で、夏の生き物だけでなく、どんぐりや紅葉、そして花菖蒲といった、季節によって変化する植物の様子も楽しむことができます!ぜひ、参加してみてくださいね。一緒に生き物探しを楽しみましょう!



所長 前田 高志



昆虫観察会

取材日：2019年7月14日

特別史跡公園 西都原古墳群 第一古墳群

西都原古墳群にて、夕方から開催された昆虫観察会の紹介です。小雨が降るなど天候は良くありませんでしたが、昼間の暑さが落ち着いて、過ごしやすい気候でした。自然に囲まれた西都原古墳群ではどこからともなく虫の声が聞こえ、参加した子どもたちは網を持って、「早く虫を捕まえたい!」と落ち着かない様子でした。

<開催概要>

日時：2019年7月14日(日)18:30~20:30 定員：15組30名(事前申込) 当日参加者：24名
参加料：1人100円 対象：親子 講師：宮崎県環境保全アドバイザー/昆虫同好会 笹岡 康則先生

昆虫観察会とは？

昆虫観察会は、毎年この時期に西都原古墳群や久峰総合公園で開催しています。子どもたちの夏休みの宿題などに役立てられるよう、昆虫の観察をしながら学べる内容となっています。

今年は宮崎県環境保全アドバイザーの笹岡康則先生に講師をご担当いただきました。先生はいつも手作りの標本を見せてくださり、参加者は興味津々で観察し、質問します。

今回の西都原古墳群での昆虫観察会は、夕方～夜にかけて光に集まる生き物を観察しました。



今回の観察方法は、「ライトトラップ」!



虫たちはこんなところに隠れている!



いざ!夜の昆虫観察!



こんな虫たちが見つかったよ!



クワガタとカブトムシは合わせて10匹以上、コガネムシも5種、その他にも蛾やカミキリムシなどとても多くの昆虫を観察できました。先生手作りの昆虫標本では、日本最小のクワガタ「マダラクワガタ」など珍しい標本を見ることができ、子どもたちも大興奮でした。

参加者の感想



今回の参加者:園児から中学生の子どもがいる家族(計24名)

- 子どもたちにめったに出来ない経験をさせていただきました。
- 夏の思い出になりました。
- 先生からの詳しい説明があり、楽しめました。
- 秋の散策もしてみたいです。
- 色々な虫に出会えてとても勉強になりました。
- 子どもたちが大興奮できてよかったです。
- 体液に触れると火傷をしたときみたいに痛くなる虫がいることを知って驚きました。
- 子どもが生き生きとした目で虫を探している姿を見て、また参加したいと思いました。

取材スタッフより



担当: 佐藤

夜の昆虫観察会ということでワクワクしながら取材してきました。集まった子どもたちは、お互いに初対面ですが昆虫を通じてどんどん仲良くなっていました。みんな一緒になって笹岡先生のことを「おじちゃん!」と呼び、目を輝かせながら質問していたのがとても印象的でした。子どもの視点からの質問はとても新鮮で、周りの大人たちにとっても非常に勉強になる観察会でした。中には危険な虫もいるので、長袖・長ズボンをオススメします!

公園スタッフより

今回の昆虫観察会では光に集まる昆虫をたくさん観察できたので、参加してくれた子どもたちに喜んでもらうことができました。西都原古墳群では昆虫観察会のほかに、星空や山野草の観察会も企画しています。また、大小様々な古墳を鑑賞しながら園内散策もできるのでご家族そろってぜひお越しください。



所長 一井 昭吾

久峰総合公園でも開催しました!



久峰総合公園にて開催された久峰親子昆虫観察会を紹介します。今回は、前日の夕方に設置しておいた「バナナトラップ」というバナナを発酵させたものを入れたペットボトルを使用しました。中には夜に入り込んだであろう、大きなカブトムシが入っており、子どもたちは先生の解説を聞きながら、熱心に観察していました。

<開催概要>

日時:2019年8月24日9:30~11:30 参加料:1人100円

講師:宮崎県環境保全アドバイザー/昆虫同好会 笹岡 康則先生



担当: 長嶺

今回取材して、初めて久峰親子昆虫観察会を体験しました。当日は、あいにくの雨でしたが大人も子どもも先生のお話真剣に聞き入っていました。先生のお話では、捕まえた虫の絵を描くことがとても重要で、細かい特徴や違いを発見できるそうです。



トンボ池で探してみよう!夏の生き物観察会

取材日:2019年7月27日

萩の台公園
トンボ池(ビオトープ)

萩の台公園にて開催された「トンボ池で探してみよう!夏の生き物観察会」を紹介します。天気が良く、きれいな青い空が広がり、絶好の観察日和でした。会場であるトンボ池では“ガマ”が生い茂り、ソーセージのような穂をゆらゆらとさせ、その上をたくさんのトンボが元気に飛び回っていました。

<開催概要>

日時:2019年7月27日(土)10:00~11:00 定員:20名(事前申込) 当日参加者:17名
参加料:1人100円 対象:どなたでも 講師:宮崎県環境保全アドバイザー 金丸 文昭先生

ビオトープとは?

もともとはギリシャ語で、ピオ(生き物)のトープ(住むところ)という意味の合成された言葉で、ドイツで生まれた新しい自然思想。本来その場所にいた、いろいろな生き物が生活する場所です。ごみ埋立処分場から萩の台公園に生まれ変わった際、自然にできた水たまりを「トンボ池(ビオトープ)」として整備しました。

トンボ池では、毎年春・夏・秋の年3回、生き物観察会を開催しており、季節ごとに変わる景色や植物、生物などに会うことができます。



トンボ池の生き物を自由に観察して、ビンゴを完成させよう!



好きな順番にマスを埋めて、ビンゴを目指します。見つけた時にはまわりと認め合って印をつけます。



飛んでいるトンボを狙う子、水辺にいる生き物を探す子など、観察の仕方は様々です。生き物を見つけて先生に見せると、名前や詳しい生態を教えてくださいます。蝶のように舞うチョウトンボ、真っ赤なショウジョウトンボなど、たくさんの種類のトンボを観察することができました。

終わりの会



巻きついている植物はツルマメです



最後に講師の金丸先生から、観察できた生き物や植物についてお話がありました。最近、里地里山からトンボ池のような自然環境が消えていく現在、トンボ池のビオトープはとても貴重なもので、その管理をしっかり守っていく必要があります。

参加者には下敷きをプレゼント!



トンボ池の生き物を紹介しています!



最後に子どもたちに配布し、大変喜ばれました。

参加者の感想

今回の参加者:
3歳～小学生程度の子どもがいる3組の家族、
児童クラブ団体(計17名)

- ・生き物観察会を冬もやってほしい。
- ・ちょっと夏は暑かった。
- ・子どもが関心を持ったのでいい機会になったと思いました。萩の台にはよく来ますがトンボ池で落ち着いて観察をしたことがなかったのが良かったです。
- ・最近はこの場所が無いので、来て良かったです。



取材スタッフより



担当: 黒木

梅雨が明けて最初の週末となり、きれいな青空で天気良かったのですが、気温も高く日差しが強い日でした。外での活動となるため、熱中症の対策やこまめな水分補給をどなたも徹底されていました。子どもたちは網を片手に元気に走り回り、特にトンボをよく追いかけていました。池に入ってしまうこともあるので、長靴や汚れても良い服装で参加の方が良いかもしれません。

公園スタッフより

生き物観察会は園児や児童向けに、「自然との関わりを感じ、生命を尊重する気持ちを育ててほしい」という思いで年3回開催しています。生き物の住む場所は時代の変化と共に減少し、家の周りに田んぼや雑木林があるという環境も近年では少なくなってきました。子供たちには自然に触れて昆虫や植物に心を動かされる中で、生命の不思議さや尊さに気づき、命あるものとしていたわる心を持ってもらえたら嬉しく思います。

ぜひ、参加してみてくださいね。一緒に生き物探しを楽しみましょう!



所長 米丸 淳一



昆虫観察ができる公園を作ろう!

トンボ池クラブ メンバー募集!

萩の台公園は、家族みんなで楽しめる総合スポーツ公園ですが、その一角にトンボ池があります。ヨシやガマ、カヤツリグサなど水辺の植物などが生い盛りたくさん、トンボが飛び回っています。このトンボ池と周辺を主な活動の場として様々な生き物や植物とふれ合い、生命の大切さや多様な自然の魅力を学ぶ場として「トンボ池クラブ」を発足することになりました。このクラブ活動を通じて、ビオトープの知識や技術、またメンバー同士の交流など楽しい企画を用意していますので、皆さまの参加をお待ちしています。

○活動期間

令和2年4月1日～令和5年3月31日

○場所

萩の台公園 トンボ池及び周辺

○募集人数

親子含め20名程度(定員になり次第締切)

○活動内容

- ・ビオトープづくりの学習
 - ・トンボ池の多様な生き物や植物の調査、観察(生き物観察会)
 - ・ガマなどを手刈りで行う草刈
 - ・生き物のすみかづくりなど。
- ※活動時間は、基本的に1回あたり9時～10時半の1時間半程度。

○対象

- ・原則3歳以上
 - ・来年度以降も継続的に参加できる方
 - ・親子・家族での参加歓迎
- ※小学生以下の参加は、保護者の責任の下で行って下さい。

○令和2年度

トンボ池クラブ年間活動計画

月	日	活動内容
4	18日(土)	春の生き物観察会
5	16日(土)	オリエンテーション フジバカマを植えてみよう ツバメの観察会をしよう
6	20日(土)	粗朶積みを作ろう
7	18日(土)	夏の生き物観察会
8	8日(土)	生き物発見シートを作ろう
9	19日(土)	秋の生き物観察会
10～12月		☆ボランティア研修・交流会
10	17日(土)	アブラナの種を播こう
11	21日(土)	ガマを刈り取ろう
12	19日(土)	樹木を植えよう・花木へ肥料をあげよう
2	20日(土)	トカゲやカナヘビのビオトープを作ろう 今年度の考察・来年度の計画
3	20日(土)	タケノコ掘りをしてみよう

※予定は変更になる場合があります。

ご興味のある方は萩の台公園管理事務所までお問合せ・お申込みください。

萩の台公園管理事務所 〒880-0125 宮崎市大字広原字竹増迫 7150

TEL 0985-30-2163 FAX 0985-39-5940

E-mail haginodai@mppf.or.jp HP http://mppf.or.jp/haginodai/



干潟で遊ぼう観察会

取材日：2019年7月15日

県立阿波岐原森林公園

一ツ葉入江

最後は憶地域まちづくり推進委員会主催のもと、県立阿波岐原森林公園 一ツ葉入江で実施された「干潟で遊ぼう観察会」を紹介します。この日は雨上がりで日差しが強く蒸し暑い日となりましたが、たくさんの親子や学生たちが一ツ葉入江に集まりました。

<開催概要>

日時：2019年7月15日(月祝)9:30～12:30 当日参加者：約250名 参加料：1人100円

講師：宮崎大学名誉教授 三浦知之先生 主催：憶地域まちづくり推進委員会

一ツ葉入江と三浦先生

今回の観察会の講師である宮崎大学名誉教授の三浦先生は、一ツ葉入江は環境省の「日本の重要湿地500」にも選定されている全国的に見ても珍しい干潟であることを教えてくださいました。三浦先生は2002年からこの干潟の調査を開始して、「干潟で遊ぼう観察会」は今回で12回目の開催ということです。観察会の他に宮崎ミニ水族館を開くなど様々な活動をなされています。

観察に入る前に、三浦先生から「寄生する生物」をテーマにしたお話がありました。なんと、この観察会のなかで一ツ葉入江に生息する「アナジャコ」や「ヤドリムシ」といった寄生する生物を見つけられた人には特別賞(三浦先生が執筆した本)があるとのこと、参加者はみんな張り切って生き物を探し、観察していました。



まずは干潟を綺麗にしよう!



原始的漁法「柴漬け漁」を見学!



いよいよ観察!どんな生き物が見つかるかな!?



参加者の感想



今回の参加者：約250名(幼児～小学生連れの家族、中学生など)

- ・子どもたちにとって、ただ素手でウナギを触るってだけで、とても良い経験になるんですね。
- ・親の代わりに小学生の孫を連れてきたんだけど、孫そっちのけで私たちが楽しんじゃって、いい運動になるわ。
- ・子どもの学校でプリントが配られたから今回初めて来てみたんですけど、すごく楽しいです。参加者もとても多くて驚きました。

公園スタッフより

干潟ではおなじみのエビやカニからウナギやジャコといった普段見慣れない生き物まで、一ツ葉入江にはたくさんの生き物が生息しています。そんな生き物たちと直接触れ合うことができるのも干潟で遊ぼう観察会の魅力の一つです。また、講師の先生から生き物の解説もあるので、夏休みの自由研究の題材としてもピッタリだと思います。今年の夏は一ツ葉入江で色々な生き物と触れ合ってみませんか?



スタッフ 日高 拓未

今回紹介できなかった他の公園でも、自然や生き物観察を楽しむことができます。
是非、お越しください!

■みやざき公園協会が指定管理者として管理している施設

※★:生き物観察などのイベント等



特別史跡公園西都原古墳群

TEL.0983-42-0024 FAX.0983-42-0242
〒881-0005 西都市大字三宅西都原5670
<http://mppf.or.jp/saito/>
★山野草を食べよう(4月)、昆虫観察会(7月)、星空観察会(10月)



みやざき臨海公園

[サンマリーナ宮崎・サンビーチーツ葉]

TEL.0985-62-2665 FAX.0985-62-2773
〒880-0834 宮崎市新別府町前浜1400-16
<http://mppf.or.jp/marineparks/>
★親子釣り大会(11月)



県立阿波岐原森林公園

TEL.0985-23-2635 FAX.0985-23-2636
〒880-0834 宮崎市新別府町上和田1336-1
<http://mppf.or.jp/awaki/>
★干潟で遊ぼう観察会(7月)



宮崎県総合運動公園

TEL.0985-58-6543 FAX.0985-58-4560
〒889-2151 宮崎市大字熊野1443-12
<http://mppf.or.jp/undou/>
★ネイチャーゲーム(7月)



県立青島亜熱帯植物園

TEL.0985-65-1042 FAX.0985-55-4803
〒889-2162 宮崎市青島2丁目12-1
<http://mppf.or.jp/aoshima/>
★春のクイズラリー(4月)、プラントハンターになろう(6月)



青島参道南広場

〒889-2162 宮崎市青島2-207
<http://mppf.or.jp/sandou/>
★昼間の天体観測会(秋予定)



国際海浜エントランスプラザ

TEL.0985-32-1369 FAX.0985-32-1380
〒880-0836 宮崎市山崎町浜山414-1
http://mppf.or.jp/entrance_plaza/



阿波岐原森林公園市民の森

TEL.0985-39-7308 FAX.0985-39-7328
〒880-0835 宮崎市阿波岐原町産母128
<http://mppf.or.jp/shimin/>
★ネイチャーゲーム(冬)、野鳥観察会(2月)



萩の台公園

TEL.0985-30-2163 FAX.0985-39-5940
〒880-0125 宮崎市大字広原字竹増迫7150
<http://mppf.or.jp/haginodai/> いつでも観察できます!
★生き物観察会(4、7、9月)、トンボ池ビोटープ



宮崎市久峰総合公園

TEL・FAX.0985-73-2782
〒880-0212 宮崎市佐土原町下那珂13754
<http://mppf.or.jp/hisamine/>
★昆虫観察会(8月)



宮崎市佐土原武道館

TEL・FAX.0985-73-2782
〒880-0211 宮崎市佐土原町下那珂12900-2
<http://mppf.or.jp/hisamine/>



宮崎市佐土原町域社会体育施設[佐土原体育館 他]

TEL.0985-73-7223 FAX.0985-75-0155
〒880-0211 宮崎市佐土原町下田島20688-74
<http://mppf.or.jp/sadowara/>



宮崎みたま園

TEL.0985-39-5030
〒880-0041 宮崎市池内町天神面3901
<http://mppf.or.jp/mitamaen/>